

新着情報

No.266 2024年 5月号



ネモフィラ

DVD 「児童養護施設における施設実習 第3巻 児童養護施設の小規模化 編」

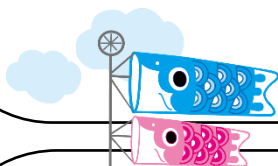
新宿スタジオ / 40分 / 2023年



(D-9-22)

小規模化した児童養護施設の概要と、実際の子どもたちの生活や職員の仕事を見ていく。

■児童養護施設の小規模化が求められる背景■小規模化のさまざまな形■小規模化のメリットと課題■小規模化した施設の1日（・建物の紹介・起床～子どもたち見送り・子どもたちが学校に行っている間の仕事・子どもたちの下校・夕食準備・夕食・夜の自由時間～就寝）■インタビュー 他



DVD 「こども食堂にて」

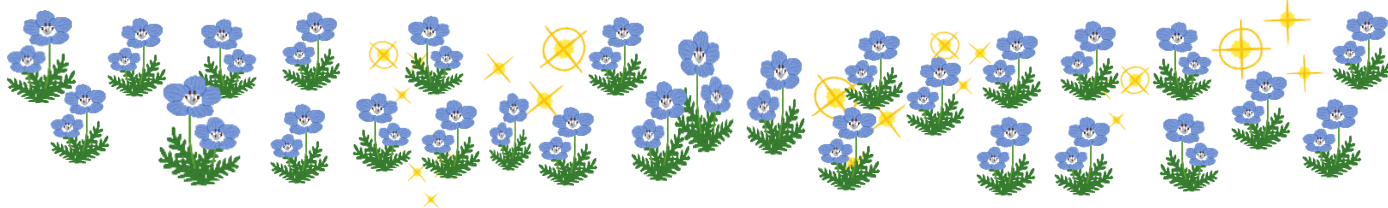
BBB / 115分 / 2023年



(D-13-1-85)



「こども食堂」でボランティアを始めた千晶は、自身も親の虐待から立ち直った過去があった。「こども食堂」にはいまや、貧困家庭や孤食の子どもたちに食事を提供するだけでなく、子どもと地域社会を結びつける重要な役割も求められており、そこにはさまざまな事情を抱えた子どもたちやシングルマザーたちも訪れてくる。そんなある日、里親のもとで暮らす1人の高校生から、「生みの母親が見つかったので会いたい」という悩みを打ち明けられる。





(A2660-580)

「からだをいたわる介護術 動画つきで一目でわかる 家庭の介護」

長谷川 陽介・山田 和 著 / アスク

起き上がりの動作の介助、車いすを使った移動、ポータブルトイレの使い方…。介護（介助）の技術を写真&動画とともに解説。「悪い例」や、使用する福祉用具も紹介。家庭で介護する側される側の両者にとって必要な知識をまとめた一冊。



(A21-183)

「よるべない100人のそばに居る。 〈救護施設ひのたに園〉とぼく」

御代田 太一 著 / 河出書房新社

仕事、お金、身寄り、住む場所…これらを失った時、私たちはどんな風に生きていくのだろうか？ “最後のセーフティネット”に飛び込んだ新米生活支援員と、一人ひとりとの出会いの物語。



(A70-331)

「コミュニティの社会学」

- 祐成 保志 ほか/編
- 有斐閣

人は「コミュニティ」に何を求めているのか。気鋭の社会学者たちが、伝統と変化と実践の中のコミュニティを新たなアプローチで読み解く注目の書。



(A266-272)

「事業者のための介護保険制度対応ナビ 令和6年度改定がひと目でわかる！ 運営基準・介護報酬改定速報」

- 本間 清文/編著
- 第一法規

令和6年度介護報酬改定が事業所へ与える影響を、アイコンや図表を用いて、事業者目線でわかりやすく解説。

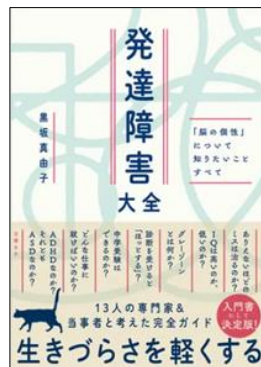


(A2663-505)

「これならわかる！ケアマネが知っておきたい年金制度基本の「き」 アセスメントやケアプランに差がつく利用者の生活を支えるお金のはなし」

- 増田 雅暢/著
- 第一法規

年金制度の「全体像」から利用者との関係の深い「給付関係」、介護保険や他の社会保障制度との関係など、わかりやすく簡潔に説明。



(A2841-260)

「発達障害大全 「脳の個性」について知りたいことすべて」

- 黒坂 真由子/著
- 日経BP

ありそうでなかった「発達障害の教科書」。各界第一人者の医師、研究者など13人に、あらゆる疑問をぶつけてとことん聞いた。入門書にして決定版！



(A274-169)

「図解でわかるサビ管・児発管のお仕事」

菊本 圭一 編著 / 中央法規出版

サービス管理責任者・児童発達支援管理責任者の仕事内容から地域とのつながり方、人の育て方、関連する法制度までわかりやすく紹介。既に資格をもって働くサビ管・児発管や、これから資格取得を目指す障害福祉サービスの従事者におすすめの1冊。



(A2661-617)

「コロナと認知症 進行を止めるために 今日からできること」

- 長尾 和宏/著
- ブックマン社

コロナ感染やワクチン接種をきっかけに急増した認知症。軽度認知症から認知症になる人は半分。残りの半分は、健康な状態に戻る。認知症を遠ざける習慣を紹介。



(A261-242)

「ビジネスケアラー 働きながら親の介護をする人たち (ディスカヴァー携書)」

- 酒井 穰/著
- ディスカヴァー・トゥエンティワン

「仕事と介護の両立」問題は、個人の問題であるとともに、日本社会全体の問題でもある。「そろそろ親の介護が…」という人はもちろん経営者・管理職・人事担当者も必見!



(A2815-21)

「注文に時間がかかる カフェ たとえば「あ行」が苦手な君に」

- 大平 一枝 /著
- ポプラ社

吃音で「いらっしゃいませ」が言えず、接客アルバイトを諦めてきた若者たちが、奇想天外な1Dayカフェを始めた。こんな接客があってもいい。温かな感動の物語。



(A2661-616)

「オレンジ・ランプ (幻冬舎文庫)」

- 山国 秀幸/著
- 幻冬舎

ある日、僕は認知症と診断された。まだ、39歳だった——。実話をもとに描く、夫婦の9年間の軌跡。2023年公開映画の原作。



(A40-324)

「お母さんのおむつを替えた日 ヤングケアラーのを見つけ方」

- 一ノ瀬 かおる ほか/著
- 竹書房

ぼくの世界は全て家の中。“家のこと”のために林間学校も修学旅行も不参加。そして——15歳のとき母が倒れ、17歳から本格的な介護が始まった。



(596-96)

「村上祥子の電子レンジでもっと!シニアごはん (TJ MOOK)」

- 村上 祥子/著
- 宝島社

元気なシニアであるためには、早・うま・簡単に料理を作る力が必要。電子レンジを活用し栄養バランスも抜群のレシピを紹介。

研修関連おすすめ図書紹介

研修：『初任者向け介護技術研修』

◆日時：5月30日（木）、6月6日（木）、6月13日（木）
午後10時～午後4時30分

研修関連図書



(A2660-544) (A2660-547)

「利用者にも介助者にも安心・快適な介護技術 現場の「困った!」を解決できる」

高山 彰彦 著 / 中央法規出版 / 2020年

移乗の介助は負担が大きい。浴槽への出入りが重くて大変…。でも大丈夫！ 体重差・体格差があっても、お互いに負担なく続けられる介助方法を丁寧に解説。介護専門職はもちろん、ご自宅でご家族の介助をされている方にも参考になる介護技術を紹介。



(A2660-494)

「介護される人を大切にしたい！介護する人も大切にしたい！あなたのための介護技術 基本編」

高山 彰彦 高山 美佐子 著 / 文芸社 / 2018年

重心移動、車イス介助、起立介助、移乗（乗り移り）介助技術、歩行介助…。介護ロボットもリフトも使わない、介護される人・介護する人が、お互いに負担のない介護技術を写真で紹介する。

大阪市社会福祉研修・情報センター 2F 図書・資料閲覧室のご案内

◆開室時間：月曜日～土曜日 午前9時30分～午後5時
金曜日 午前9時30分～午後7時

毎週金曜日は午後7時まで延長！

◆休 室 日：日曜日・祝日（土曜日は除く）・年末年始
※初めて借りる方、カードを忘れた方は現住所が分かるものをご提示ください。（運転免許証・健康保険証など）

◆住 所：〒557-0024 大阪市西成区出城 2-5-20

◆電 話：06-4392-8233

◆URL：<https://www.wel-osaka.com>

（↑DVDリストのダウンロードや、図書の検索ができます）

